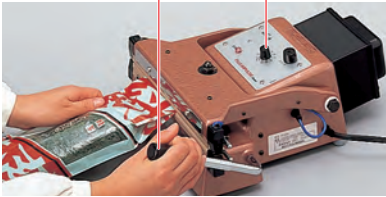


厚物ガゼット袋用シーラー

簡単な操作

本体上部の加熱時間調整ツマミで使用される袋に応じた加熱時間を設定。
左手で袋を持ったまま、本体右側の圧着ハンドルを手前に引くと強力な加圧力が加えられ、丈夫で美しいシールができます。

圧着ハンドル 加熱時間調整ツマミ



厚いガゼット袋を確実にシール

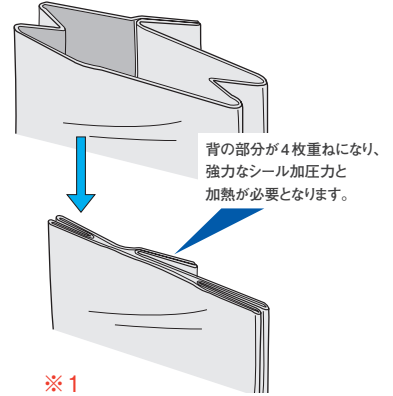
お茶袋やコーヒー豆袋などのアルミ蒸着フィルムを使用したガゼット袋は厚く、しかもシールする際に背の部分が右イラストのように4枚に重ね合わされた状態になります。このようなガゼット袋を溶着させるには通常のシーラーより「強力な加圧力」と「袋を溶かすことのできる熱源」が必要になります。

FT-130、FT-230は袋の下側からだけでなく袋の上側からも加熱し、袋を熱源で挟み込み、また強力なシール加圧力を加えることができる構造を持つシーラーです。

お茶袋をはじめフィルム総厚0.5mmまでの各種の袋をシールすることができます。

※1

お茶袋などに多いガゼット袋のイメージ図



※1

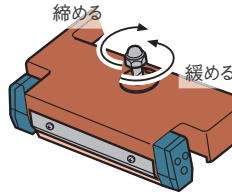
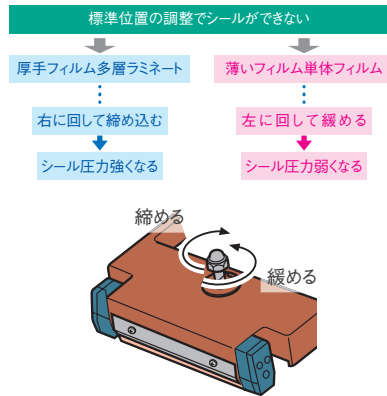
上イラスト例のようなガゼット袋であれば、一番厚くなる箇所は、4枚重ねになりますので、フィルム1枚の厚さが0.125mm以下のものまでシール可能とお考えください。

総厚 0.5mm ÷ 4 枚 = 1枚当り 0.125mm

多様な包材に対応

シール圧力は、工場出荷時に標準的な袋の厚さに合わせて設定しています。適切なシール圧力は袋の材質や厚み・形状などにより異なります。適切に設定されていない場合、シールが不完全なものになります。

FT-130、FT-230は必要に応じて圧力調整ナットでシール加圧力を変更することができます。



FT-130



FT-230



シール専用



手動



機種選定目安

使用回数/日
1000
袋以下



130タイプ



230タイプ